

令和 4 年 7 月 19 日
道路局 国道・技術課

道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を 2 件採択します

○新道路技術会議において、道路行政ニーズを実現するためFS(フーズビリティスタディ)研究・短期研究として 2 件採択することとしましたのでお知らせします。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議(委員長:朝倉 康夫 東京工業大学名誉教授、神戸大学名誉教授)を設置しています。

今年度から道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を立ち上げ、通年募集し年間4回、合計 10 件程度を採択することとしています。

今回、5 月末までに応募のあった 3 件について新道路技術会議において審議し、別紙の 2 件を採択することとしました。

※F S 研究：本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの

短期研究：短期的に実施可能な小規模な研究開発

なお、令和4年度のFS研究・短期研究は今後も引き続き募集しています。

<応募の審査時期>

応募	審査
6月～8月	9月
9月～11月	12月
12月～2月	3月

(次回)

<応募要領等>

- FS 研究・短期研究 募集要領及び提案様式

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/shinki/koubo.html>) 国交省 HP

- 道路行政ニーズ

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>) 国交省 HP

<問い合わせ先>

国土交通省道路局 国道・技術課 松實、豊田(内線 37862、37855)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8498

＜ソフト分野＞

FS/短期	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
FS	平面交差点の安全性と円滑性を向上させる反転交差点の技術研究開発に関する実行可能性調査	安全性と円滑性を向上させる新しい平面交差形式である反転交差点の技術研究開発に向け、文献調査や机上検討による実行可能性調査を行う。その結果を元に本格研究では、反転交差点の性能評価および導入上の課題について検討し、導入指針を取りまとめる。	横浜国立大学 教授 田中 伸治

＜ハード分野＞

FS/短期	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
FS	レーザーによる高精度形状計測と膜厚計測を併用した非接触ボルト軸力推定法の検討	本研究では、既設鋼道路橋の高力ボルトの軸力を非接触で予測する手法を開発することが目的である。方法としてはインラインレーザー変位計を用い高精度かつ高速な形状計測、およびレーザー膜厚測定機を組み合わせることによって測定されるボルトナットもしくは頭部の形状よりボルト軸力を予測する。FS 研究では、室内実験および FE 解析で予測精度を検討し、本格研究では橋梁現場での測定方法を検討する。	神戸大学 准教授 橋本 国太郎